

## 平成 20 年度 第 2 回理事会議事録

1. 日 時：平成 21 年 2 月 28 日（土）13：30～15：40
2. 場 所：航空会館 6 階 603 会議室
3. 理事会出席者（計 18 名）：  
牧野 健、坂井 正一郎、甲賀 大樹、吉田 正克（14：30 中座）  
秋山 崇道、池田 亨、板倉 忠興、大平 雅大、熊谷 功二、鈴木 康一、  
土屋 宣幸、中塚 総一郎、中村 暢宏、野田 迪郎、増谷 一夫、吉田 茂、  
代理でオブザーバーとして出席：茂田 慶一（万場 泰雄 理事）  
委任状提出：万場 泰雄、堀田 省二郎  
理事会欠席者：中澤 愛一郎  
出席監事：谷口 良知、山本 隆章

議事に先立ち、議長より以下説明があった。

- \* 理事会は定款第 28 条 2、第 23 条により、会長が議長を務める。
- \* 理事総数 19 名中、委任状を含む 18 名の出席、定款第 29 条 1 により、理事会定足は理事総数の 3 分の 2 13 名であることから本理事会は有効に成立。
- \* 定款 27 条により議長が議事録署名人に秋山崇道理事並びに増谷一夫理事を指名、了承を得た。

#### 4. 議案について

##### 4.1 状況説明

議長の指名により添付資料を使って甲賀常務理事より平成 21 年度において予想される状況報告および総会案内で会員に配布した事業計画案および収支予算案の説明が以下の通りされた。

- \* 会費および利子収入で固定費、その他収入で事業費を賄うことを基本としている。
- \* 平成 20 年度から固定費を事業費にも配分しているの、19 年度までと様相が変わっている。配布率は事業費に 80%、管理費に 20%としている。
- \* 不況の影響で協賛金収入は大幅に減少すると予想される。また昨年度から機関紙（JSA Information）の広告取り下げが数件に上っている。
- \* 助成金を大いに活用したいので、主催事業実施に理事各位のご協力を得たい。

##### 4.2 事業計画・収支予算に対する提案および討議

- \* 増谷理事より、協会として、滑空関係の対官庁折衝等に一層力を入れるべきである。また、滑空関連で、表彰制度などを実施してはどうか、官庁はじめ各方面との関連強化、広報効果などの利点も考えられようとの提案があり、理事各位により議論された。結論は、事業計画は利用できる予算やマンパワーのなかで優先順位を決めて実施するものである。増谷理事の提案は重要であるが、4 月から実行する今年度事業計画議案にするだけの検討がなされていないので、平成 21 年度議案としては取り上げないことが確認された。
- \* 日本滑空選手権開催  
競技委員会を再編成し、競技会開催を推進する。  
事業内容は競技委員会企画を受け、当協会として承認し、実行する。
- \* 安全飛行大会（異常姿勢からの回復トレーニング）  
関宿滑空場のほか、もう一カ所で開催する。

#### 5. 議案について

- \* 第 1 号議案 平成 21 年度事業計画（案）について  
主催イベント第 1 項 2 行目を削除して総会議案とすることを全員賛成で理事会決議とした。
- \* 第 2 号議案 平成 21 年度収支予算（案）について  
全員賛成で本議案を理事会決議とした。

以上を以って全ての議事を終了し、15時40分に議長の閉会宣言により閉会した

平成21年2月28日  
社団法人日本滑空協会

議長 会長

牧野 健



議事録署名人 理事

秋山 崇道



同 理事

増谷 一夫

